

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている やや良く なっている	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・以前は来店されても購入されることが少なかったが、来客数も増え、購入金額も増えている。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・売上金額及び来客数ともに前年同月比100%になり、本年度初めての傾向が見られた。少し上向きになっている。
		一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・お中元の受注件数は減っているが、単価は少し上昇しているため、やや良くなっていると判断した。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・夏の到来が早く、夏物の動きが良い。それに合わせて購入単価も上昇している。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・好天の日が多く、飲料を中心とした商品の販売が好調に推移している。
		コンビニ（店 長）	単価の動き	・来客数の落ち込みを単価の上昇でカバーしている。プラス品の購入がある。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・例年より梅雨明けが2週間ほど早く、気温の上昇とともに夏商材が動き出し、来客数も伸びている。
		コンビニ（商品 担当）	販売量の動き	・購入単価は下がってきているが、販売点数は増えており、購買意欲が高くなってきていると感じる。
		観光型旅館（経 営者）	お客様の様子	・去年同期と比べて大幅に宿泊客が伸びている。これはインターネット等の戦略の成功もあるが、客が消費をしようという動きが起こっている。家族三世代旅行という新しい動きが出てきており、観光旅館にとってプラスになっている。
		旅行代理店（支 店長）	販売量の動き	・富士山の世界遺産登録や参議院選挙での与党勝利による景気回復への期待感から、夏場の国内個人旅行需要が前年同期に比べて110%と好調に推移している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・月前半はボーナス支給後だったため、単価も良くなったが、月末はあまり大したことはなかった。
		通信会社（企 画）	お客様の様子	・引き続き、高額商品への引き合いがあるほか、集合住宅での一括加入も増えている。
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・真夏日が多く、暑いから髪を切りたくなる客が増えている。
設計事務所（所 長）	単価の動き	・建築単価が急激に上昇している。		
変わらない		商店街（代表 者）	お客様の様子	・株高で恩恵を受けている人以外、アベノミクスの効果を実感できている話をほとんど聞かない。消費税増税前の駆け込み需要が終わった時点で、混乱が起こるのではないかと。
		商店街（事務局 長）	来客数の動き	・選挙も終わり、景気が上向き期待感はあるが、現状はごく一部の業種、商品に明るい兆しがあるだけで、多くの業種は、ここ数か月停滞感が否めない状況である。
		一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・店頭売上は回復の兆しがみられるが、外商の大口売上が少なく、合計では前年と比べて大きく売上が減少している。
		スーパー（企画 担当）	単価の動き	・売上高は伸びてきているが、来客数はほぼ横ばい。夏場に入って野菜類の高騰などで単価が上昇している。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・食料品等への支出の状況は、大きな変化は見られない。
		衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・7月はバーゲン月での売上増を期待していたが、当社はバーゲンを1週間倒したことがマイナスに作用し厳しかった。
		家電量販店（店 員）	来客数の動き	・来客数は、ここ数か月安定して多い傾向にある。ただ、例年に比べてボーナス商戦の盛り上がりには欠け、客単価が若干低下傾向にあると感じる。
		乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・7月は、受注が前年を割っており、8月の販売に影響が出てくる。業界全体では、販売が6月より前年を下回っており、9月頃までは様子を見て対応した方がよいと考えている。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・選挙の影響で来客数が大幅に減ることは織り込み済みであるが、それ以外に来客の動きに変わりはない。
		都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・来客数はあまり変わらない。アベノミクスへの期待感はないながらも、地方にはまだ波及していない。
		美容室（経営 者）	お客様の様子	・来客数が前年同月比でわずかながら増加したが、客単価は低く抑えられている。

やや悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・郊外大型店がテナント入替え等のリニューアルを行ったことから、商店街の客が郊外に流れているように思う。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・繁華街や中心商店街で、古くから営業していた店舗が相次いで閉店した。	
	一般小売店〔菓子〕（総務担当）	来客数の動き	・来客数が減少している。特に平日の落ち込みが顕著である。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は前年並みであるが、購入点数が減っている。客に聞いても「買いたい物しか買わない」という答えが返ってくる。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・7月は、前年と比べて少し悪い。全体的に来場者数が減っている。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・周年レースは、売上目標はほぼ達成したものの前年比7.37%減となり、思うように伸びなかった。また、来場者数も前年比4%減で、3か月前と比べて来場者は10%前後伸びているが、周年レース等イベント開催を考慮すれば良くなっているとはいえない。	
悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・お中元の売上は過去最悪となった。大手スーパーなどは価格が安い上に全国無料配達を行うため、地元専門店は大刀打ちできない。	
	衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・単品買いが非常に多く、客単価の低下が著しい。また、気温の上昇とともに来客数も減少しており、売上は大幅に減少している。	
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・自動車業界が全体に悪い。特に当社は来客数が激減しており、受注ベースで前年比73%、登録ベースで前年比66%となっている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・暑くなって乗客が増えると思っていたが、大したことはない。瀬戸内国際芸術祭夏会期が始まったが、タクシー利用はほとんどなく、お遍路さんや街中の利用も少ない。なかなか売上が伸びず、景気が上向している印象は全くない。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	食料品製造業（商品統括）	それ以外	・政権与党が明確に方向性を打ち出していることによる安心感が企業に有ると感じている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電の物件受注が大型から小型まで大変好調である。また、工場の高圧受電等の改造・改修が多くなっており、景気が上向していると感じる。
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店からの発注が旺盛で、少しずつではあるが景気が持ち直しているように思われる。廃業する店の数より新規出店する小売店のほうが多く、市場が活性化しているようである。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・円安の効果により、中東での大口商談が増えている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・災害対策の公共工事の増加が期待されており、それを見込んだ設備投資や人員確保の動きが一部に見られる。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・東京や大阪からの投資用不動産物件に対する問い合わせがかなり増えている。今後もさらに増える見込みである。
	変わらない	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元資本の得意先はあまり変化が無いが、全国ネットの得意先はやや積極的に販促展開をしている。
		農林水産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・供給量の減少した品目は単価上昇もみられるが、猛暑の影響から消費は鈍っている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の仕入価格が上昇してきている一方で、商品値上げがなかなか進まない。商品価格の修正をしなければ、採算ベースに合わず、やっていけない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国、県、市町村とも公共事業関連の業務発注がコンスタントに実施されており、新規受注状況も良い。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事が大分出てきており、当社は2件受注できたが、まだまだ足りない。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大きな変化は見られないが、雰囲気は良い。
通信業（部長）		取引先の様子	・通信費用の節減傾向は依然として変わらず、新規契約提案に対する反応も鈍く、状況はあまり変わらない。	
公認会計士		取引先の様子	・今月の関与先企業の決算や試算表等のデータを見ると、前年比で売上が伸びているところは1割程度しかなく、景気は停滞していると感じられる。	

	やや悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量や受注価格の水準は低い一方で、燃料価格は上がり続けており、円安やアベノミクス効果は見えない。
		輸送業（営業）	取引先の様子	・見積等の引き合いはあるが、複数業者を天秤にかけて、値引きを引き出す為で、成約には至らない。燃料や荷造梱包資材等の高騰による経費増を運賃値上げで吸収したいが、取引解消や減少のリスクを考慮すると慎重になる。損益状況の大幅な下振れが続いており、車輛の代替や施設修繕等を先延ばしするしかない。
		広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・一部用紙が確保しにくくなり、価格も上昇気味である。インキや樹脂製品などの石油由来の資材関係も値上げのため、メーカーから交渉のアプローチが始まりつつある。
	悪くなっている	輸送業（支店長）	取引先の様子	・大口荷主の工場定期修理が前年同期に比べて長くかかったため、原料や製品輸送量が大幅に減少した。
雇用 関連 (四国)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・参議院選挙も終わり、社会は景気回復を期待しているが、一般家庭まではまだ影響が届いていない。しかし、人材の雇用に関して派遣の更新期間が幾分長く稼働できる状況が見受けられる。また、正規雇用を前提とした期間雇用も少しずつニーズが聞こえはじめた。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・引き続き求人数が増えつつある。ただ、長く求人をして、必要な人材が確保できない企業も多い。良くなっているが、完全に良くなっているとは言い難い。
	職業安定所（職員）	それ以外		・6月の月間有効求人倍率は0.85倍で、3か月前と比較して0.05ポイント上昇している。
変わらない		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・派遣社員より賃金が安価なパートやアルバイトの求人ニーズの方が依然として高く、企業景況感の上向きを示す程の派遣ニーズには至っていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・広告は不動産も金融、医療関係も伸びがなく、ディーラーも横ばいである。猛暑により町中の人出も少なく、値上げの話題ばかりが出ている。アベノミクスは地方には関係ないのではないかと思う。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比8.2%増と、5か月連続で増加している。数字の上では改善の動きがみられるが、臨時的な雇用の増加が目立つ。景気回復の動きと異なる面があり、しばらく求人動向に注視が必要である。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求人数は増加しており、有効求人倍率はバブル期をしのぐ数字となっている。しかし、半数以上は非正規労働が占め、求職者とのミスマッチが増加している。
		民間職業紹介機関（所長）	求職者数の動き	・求職登録者は例年並みで推移している。転職希望の理由としては待遇面や人間関係、仕事への不満等で差し迫っての切迫感を感じられない。転職に関しては、良い所があれば変わりたい程度の気持ちである。
やや悪くなっている		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・製造関係の低迷により、求人数が伸び悩んでいる。
		求人情報誌制作会社（従業員）	求人数の動き	・夏休み時期は例年求人数が減少する。
	悪くなっている	—	—	—